

Windows11 を最小システム要件に満たしていない PC にインストールする

Windows11 が10月5日にリリースされ、要件を満たしているパソコンであれば、順次 Windows Update でアップグレードできるようになりました。

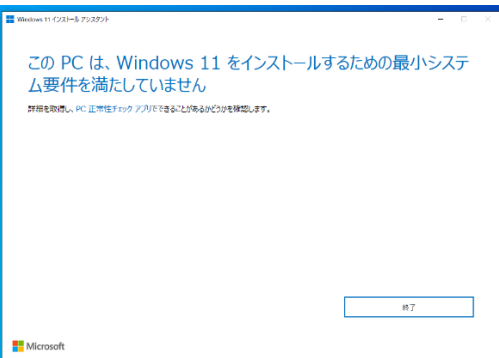
Windows Update にまだ表示されない場合は、「Windows11 インストールアシスタント」でインストールできます。

1. まずは Windows11 をダウンロードサイトからダウンロードしよう

Windows11 ダウンロードサイト:[Windows 11 をダウンロードする \(microsoft.com\)](https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/11)

The screenshot shows the Windows 11 installation assistant interface. On the left, there are three main options for installation: 'Windows 11 インストール アシスタント' (highlighted with a red box and labeled ①), 'Windows 11 のインストール メディアを作成する' (highlighted with a red box and labeled ②), and 'Windows 11 ディスク イメージ (ISO) をダウンロードする' (highlighted with a red box and labeled ③). A text box at the bottom left explains that there are three methods and that option ① is recommended for one PC. The right side of the page shows the 'Windows 11 インストール アシスタント' section with a '今すぐダウンロード' button and a red box labeled ①. Below that is the 'Windows 11 のインストール メディアを作成する' section with a '今すぐダウンロード' button and a red box labeled ②. At the bottom is the 'Windows 11 ディスク イメージ (ISO) をダウンロードする' section with a 'ダウンロード' button and a red box labeled ③.

2. いざインストールを行っても下図の画面が表示されたら



残念ながら、システム要件が満たしていないことになり通常はインストールできないことになります。

システム要件	
プロセッサ	1 GHz ハルツ (GHz) 以上 2 コア以上、64 ビット且つ 60 GHz 未満または System on a Chip (SoC)
メモリ	4 GB バイト 以上
ストレージ	64 GB 以上の空き容量 (詳細は、Windows 11 のインストールガイドを参照してください)
システム ファームウェア	UEFI、セキュアブート、最新の BIOS が有効になっている必要がある (詳細は、こちらを参照してください)
TPM	トラステッドプラットフォームモジュール (TPM) バージョン 2.0、お使いの PC がこれらの要件を満たす必要がある (詳細は、こちらを参照してください)
グラフィックスカード	DirectX 12 (WDDM 2.0 ドライバ) をサポート
ディスプレイ	対角ラインが 9 インチ以上、800 x 600 の解像度 (90%) のディスプレイ
インターネット接続と Microsoft アカウント	Windows 11 Home エディションにはインターネット接続と Microsoft アカウントが必要です。Windows 11 Home のセットアップにはインターネット接続が必要です。セットアップの過程で、インターネットのアクセスが必要となります。一部の機能を有効にするには Microsoft アカウントが必要です。

必須項目

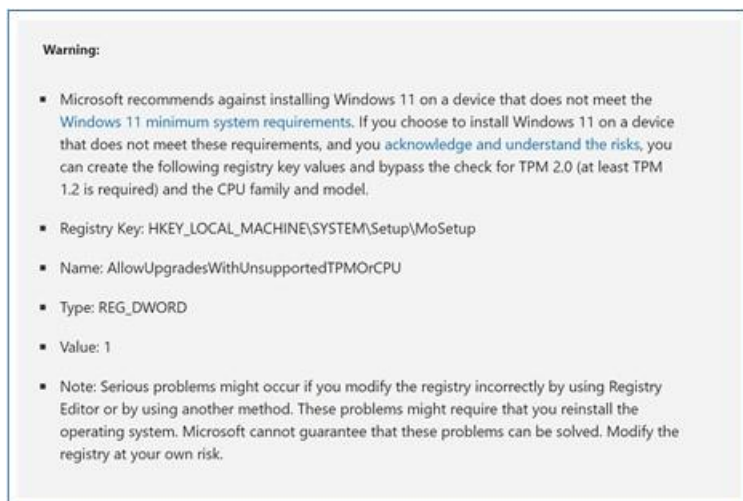
CPU: 第8世代以降

TPM:バージョン2.0

3. それでも、Windows11 を試してみたい場合は

もちろん、要件を満たしていなければ動作しないのだが、どうしても Windows11 をインストールしたい場合には裏技があるとのこと。

それも、その裏技を[マイクロソフトが公開](#)(下図一部抜粋)しているものです。



要件を満たさないパソコンに、Windows 11 をインストールしないように推奨している。

要件である TPM 2.0 や CPU のチェックをスキップできる。

ただし、深刻な問題が発生する可能性もあるので、動作の保証はしない。試すのであれば自己責任と表記されています。

4. まずは、Windows 10 の検索フォームに「regedit」と入力してレジストリエディタを起動する。

① レジストリキーをたどり、

「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥Setup¥MoSetup」を開く。

右側の一覧の何も無いところを右クリックして「新規作成」→「DWORD (32 ビット) 値」を選択する。

② 値の作成画面が開くので、名前を

「AllowUpgradesWithUnsupportedTPMOrCPU」に、値を「1」にして OK をクリックする。

③ 最後に、

「ファイル」メニューから「レジストリーエディターの終了」をクリックして、レジストリエディタを閉じる。

5. Windows 11 インストールメディアの「setup.exe」をダブルクリック画面の指示に従ってインストールを進める

ちなみに、スキップできるのは CPU と TPM のチェックとなるが、それでも TPM 1.2 は必要になる。少々古い PC でもほぼ搭載しているが、チップのない仮想 OS ソフトなどへのインストールは難しそう。

通常は要件を満たしていないとインストールできない